

デイサービスあつた 2019 年度 **保護者向け**自己評価アンケート結果

1. 放課後等デイサービス自己評価

実施時期	2019年12月13日～2020年1月10日	回答方法	Web上におけるフォームにて匿名回答
回答状況	配布33人、回答25人、回収率76%		

<自己評価集計結果> *カッコ内は前年度結果

区分	設問	はい	どちらとも	いいえ	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	100% (96%)	0% (4%)	0% (0%)	○どこのデイサービスより広さは1番！出身園なので子どもも安心して走り回っている。 ○園庭も広く部屋にも十分なスペースで活動できる。 ○肢体が不自由ですが安心して利用している。	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	100% (96%)	0% (4%)	0% (0%)	○皆さんとても素敵な先生。毎回詳しく子供の様子を伝えて下さるので、しっかりみてくれているのが伝わってくる。 ○手のかかる子ども達なので人数はこれ以上少なくとも出来ない。相談にもすぐに乗ってもらえる専門性も有難い。 ○相談しやすい環境がある。	●引き続き、基準省令に基づき、適切な人員配置に努めて参ります。運営面も含め、人員の確保に努めて参ります。 ●専門性については、職員間の情報共有や研修の機会の保障でもって、より高い専門性を目指していきます。
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	36% (44%)	44% (44%)	20% (12%)	○建物が古く、肢体が不自由な子はあまりいないのでバリアフリーではないが、補助が必要な子には補助の先生がついているので特に問題はないと思う。 ○2階なので、階段が苦手な子どもは大変かなと思う。ただし、職員さんが、必ず介助しているから、心配はしていない。 ○バリアフリーには程遠いかなと思う。法人が悪いのではなく、国や県、市からの金銭的な支援が必要かと思う。	●老朽化については、今後の検討課題でもありますので、所内で議論をすすめていき、行政にも働きかけます。 ●引き続き、安心して利用していただけるように、スタッフが介助してまいります。
④	子どもと保護者のニーズや題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	100% (96%)	0% (4%)	0% (0%)	○あつたでは、体をめいっぴい動かしたりクッキングをしたり、子供が楽しく過ごせているのが伝わってくる。楽しく通ってくれるのが1番。 ○つねに面談や相談に乗っていただき無理のない計画で支援してもらっている。	●保護者との面談は、個別支援計画だけでなく、適宜、今後も行っていきます。
⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	76% (84%)	24% (16%)	0% (0%)	○プログラムが発行されないもので、その日何をしたのかはその日のお迎えでわかる状況。 ○活動自体はイベントの行事があつたりするのでとても楽しめている。また活動の流れを明確にしていたので見通しがつきやすく理解にも繋がっていると思う。 ○色々な体験をさせてもらえて子どもも親も新しい発見がある。	●引き続き、子ども主体のプログラムを考えていきます。職員主導だけでなく、子どもたちから出発した活動も大事にしていきます。
⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	100% (92%)	0% (8%)	0% (0%)	○問題なし。 ○聞けばすぐに返答を頂けいつもわかりやすい説明を受けている。	●年度始めだけでなく、適宜説明させていただいております。
⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	92% (96%)	8% (4%)	0% (0%)	○子どもの成長と一緒に喜んでくれる素敵な先生ばかりです。しっかりデイでの様子も伝えていただけますし、家での様子もきいてもらえる。 ○発達状況や毎日の取り組み	●保護者送迎におけるメリットは今後も大事にしつつ、丁寧な引継ぎは、職員間でも共有しあつていきます。 ●場合によっては、電話やメー

					を話し合い共通の理解をしてもらっている。	ルを入れるなど、丁寧な引継ぎと状況を伝えることを大事にしています。
⑧	保護者に対して面談や、困りごとに対するアプローチはあるか。	100% (96%)	0% (4%)	0% (0%)	○いつでも気軽に相談ができる環境。先生方には本当に感謝している。 ○すぐに対応してもらえる。 ○細かいところまで行き届いている。	●複数のスタッフで意見を出し合っています。 ●気になる保護者の方が居れば、個別でお話することもあります。
⑨	保護者会等の開催等により保護者同士がつながれる機会を設けているか。	64% (48%)	32% (44%)	4% (8%)	○お迎えの時に顔を合わせることや、OBも行事などがある。 ○びっくりするくらいの保護者のつながり！！卒園在園を問わず交流がある。	●今年度につきましては、保護者交流会の開催ができず、次年度にその機会を保障していきます。
⑩	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	92% (80%)	8% (20%)	0% (0%)		
⑪	おたよりやホームページ等で行事の案内や年間予定、連絡事項の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか。	92% (92%)	8% (8%)	0% (0%)	○ホームページ拝見しておらずわからない。 ○わかりやすい説明を受けている。	●日々子どもたちの姿を写真や、造形での作品を掲示していきます。 ●昨年度より、当法人、すてっぷさぼーとのHPで公表しております。
⑫	個人情報に十分注意しているか。	96% (100%)	4% (0%)	0% (0%)	○問題なし。 ○とても配慮してもらっている。	●引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気をつけ、足りない部分にも配慮して参ります。
⑬	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。	84% (84%)	16% (16%)	0% (0%)	○しっかりプリントが配布され情報を共有してもらえらる。	●引き続き、全体に周知できるよう、説明する機会を都度設けていきます。
⑭	定期的に非常災害の発生に備えた定期的防災訓練が行われているか。	75% (52%)	25% (44%)	0% (4%)	○定期的に行ってくださっているの子どもたちもなれているように感じる。	●引き続き、毎月月末に行うことを通じて、スタッフだけでなく、子どもたちにとっても身近なものとしていきます。
⑮	子どもは通所を楽しみにしているか。	96% (88%)	4% (12%)	0% (0%)	○行けば楽しんでいるようすで安心している。 ○通園の頃からお世話になっている先生や、幼少期からのお友達がいることで安心してのびのび遊べている。 ○毎週ニコニコで通っている。帰宅後の機嫌も良い。 ○毎週楽しみでもっと通いたいくらい。	●子どもにとって、ほっとできる場所、要求を大事にできる場所づくりを目指していきます。
⑯	事業所の支援に満足しているか。	100% (92%)	0% (8%)	0% (0%)	○大満足。 ○いつも複数の職員から、その日あった、色んな出来事を伝えて貰っている。沢山の目がしっかり見守っている安心感がある。 ○通園時から、あつたの先生方の支援の質の高さはすごく感じている。子どもだけでなく、保護者の心のケアもしてくださっている。小学校に上がりましたが、あつたのかわりを断ちたくなくデイサービスに通わせている。	●送迎については、今後の検討課題として議論していきます。 ●子どもたち、保護者にとってのニーズは、客観的に多面的な視点のもと、定期的な分析を行い、必要に応じて改善していきます。

2. 児童発達支援自己評価

実施時期	2019年12月1日～2020年1月7日	回答方法	アンケート用紙での匿名回答
回答状況	配布5人、回答5人、回収率100%		

<自己評価集計結果> *カッコ内は前年度結果

区分	設問	はい	いいえ	どちらとも	わからない	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	80% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (0%)		●引き続き、当事業所の活動スペースを子どもたちにとっていかに有効に活用していけるか検討していきます。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	40% (100%)	0% (0%)	60% (0%)	0% (0%)	○専門性はあるが、時々、もう一人居ないと厳しいと感じる時がある。 ○時々、保育準備などで手薄に感じる時がある。	●基準省令に基き、引き続き適切な人員配置に努めて参ります。運営面も含め、人員の確保に努めて参ります ●専門性については、職員間の情報共有や研修の機会の保障でもって、より高い専門性を目指していきます。
③	生活空間（部屋、トイレ等）は、子どもにとってわかりやすい環境か。	100% (100%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)		●生活とあそびのスペースをマットで仕切るなど、コーナーで分けていきます。 ●引き続き、子どもの姿に合わせた環境づくりを考えていきます。
④	生活空間（部屋、トイレ等）は、清潔で心地よく過ごせる環境に整っているか。また、子どもに合わせた空間になっているか。	60% (67%)	20% (0%)	20% (33%)	0% (0%)	○清潔ではあるが、老朽化が目立つ。	●昨年度の意見から畳は、マットタイプのものに替え、改善してきました。 ●その他、必要な箇所は改善をさらに進めていきます。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか。	60% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	20% (0%)		●引き続き、スタッフ間での日々の保育を振り返りや会議等を通じて、計画に反映していきます。
⑥	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	20% (100%)	0% (0%)	40% (0%)	40% (0%)	○個別やマンツーマンではないので、難しいところがあると思う。 ○具体的に、どのような点に留意されているのか分からないことがある。	●個別支援計画を基に、大切にしたい関わりなどをより丁寧に保護者の方にお伝えしながら、一緒に保育を考え合っていきます。
⑦	保育内容は、子どもたちに合ったものか。	40% (100%)	0% (0%)	60% (0%)	0% (0%)	○本人は楽しそうではよいが、他の療育ではできていること（座るなど）が、他の子につられてできないことがある。	●今年度に引き続き、次年度も季節にちなんだりくみは、保育に取り入れていきます。 ●日々の振り返りだけでなく、月1回のスタッフ間の打ち合わせにおいても保育の振り返りを行い、保育内容に反映していきます。
⑧	契約に関すること、利用者負担等について丁寧な説明がな	80% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (0%)		●引き続き、分かりやすい説明を心掛けていきます。

	されたか。						
⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	60% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	20% (0%)		●連絡ノートのやり取りは今後も大事にしていきます。 ●その日にお伝えできなかったことは、また別途連絡を入れていきます。
⑩	保護者に対して面談や、子育てに関する困りごと、相談に対する助言等の支援が行われているか。	80% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (0%)		●引き続き、6ヶ月に1回の面談は、行っていきます。 ●面談以外でも、必要に応じて話し合いの機会をもったり、相談支援事業所、同施設内の発達センターあつたと連携をしたりして対応していきます。
⑪	保護者同士がつながりをもてたり交流ができたりするなど、保護者同士の連携が支援されているか。	80% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (0%)		●保護者向けのこどものあそびや生活をテーマにしたミニ学習会などの時間をつくっていきます。 ●単独の時間を設けるなどして、保護者同士でお話できる時間なども定期的につくっていきます。
⑫	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	100% (100%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)		
⑬	定期的におたよりやホームページ、メール等で、行事予定や保育内容、連絡事項に関する情報を保護者に対して発信されているか。	80% (100%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (0%)	○月末ではなく、もう少し早めに来月の予定が知りたい。	●引き続き、毎月の保育に関するおたよりや、連絡事項は、余裕をもって、保護者へ発信いたします。
⑭	個人情報に十分注意しているか。	80% (67%)	0% (0%)	20% (0%)	0% (33%)		
⑮	管理者・児童発達管理責任者は、子どもや保護者にとって、支援や運営などにおいて適切な業務をしているか。	60% (100%)	0% (0%)	40% (0%)	0% (0%)		●安定した事業所運営、適切な人員配置に努めていきます。
⑬	緊急時対応、事故防止、感染症等におけるマニュアルが策定され、かつ保護者に周知・説明がされているか。	80% (67%)	0% (0%)	20% (33%)	0% (0%)		●引き続き、全体に周知できるよう、説明する機会を都度設けていきます。 ●保育室内の見える位置に、掲示していきます。
⑭	非常事態に備えた防災訓練等、災害に対する訓練は行われているか。	40% (100%)	20% (0%)	20% (0%)	20% (0%)		●週2Gの防災訓練も、発達センターあつたの防災訓練と合同で行いながら、事業所としての防災意識の向上に努めていきます。
⑯	子どもたちは、楽しみに通えているか。	100% (100%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)		●発達センターあつたとの合同の職員会でも保育内容についての会議をもちます。 ●安心して通える場であるように、今後も環境を整備するとともに保育内容についてもさらに検討していきます。
⑰	ちゅうりっぷぐみの保育やデイサービスあつたの支援は、子どもたちや保護者のみなさんにとって十分なものか。	40% (100%)	0% (0%)	40% (0%)	20% (0%)		

以上の結果を公表致します。頂いた意見をもとに、プログラム内容等の改善に努めていきます。
アンケートへのご回答ありがとうございました。

管理者・児童発達管理責任者：高井 絵里子

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表(2019年度)

公表：令和2年 3月

事業所名：デイサービスあつた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		・利用定員や活動内容によって配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である。	○		・基準省令に基づいて、適切な人員配置を行うとともに、有資格者を一人多く配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。		○	・2階への移動は、サポートが必要なお子さんについては、スタッフが介助して一緒に上っています。	・今後も、老朽化やバリアフリーについては、同センターだけでなく、名古屋市にも課題を伝え、一緒に考え合っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	○		・職員会議、センターとの合同の会議を持つようにしています。	・よりパートさんも含め一緒に話し合いができる環境を整えていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		・評価表を配布、また、ネットで回答ができるように書式を工夫しております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○			・昨年度より、当法人、すてっぷサポートの HP で公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		・センターとともに検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○			・実践をもって研修に参加していく機会を増やしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。		○	・子どもの姿、要求から出発したあそびづくりを大事に考えております。 ・季節よってのプログラムやキャンプに向けたグループでの活動などを適宜、取り入れています。	・引き続き、子どもの姿から活動を考えることや、同センター内の職員からの意見ももらいながら活動を考えていきます。

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇は開所時間を長くするだけでなく、日々のデイでは体験できないとりくみなども取り入れています。 ・また、同年齢の子どもたちに体験させたいものを提供できるよう、色々な人に意見をもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、長時間開所、行事におけるねらいを丁寧に確認しながら、学童期、青年期の支援を考えていきます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	○			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも、全員で打ち合わせができないこともあるので、メモで残すなど、情報を共有できるようにしていきます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、記録を取るとともに、気になったことなどをその場で伝え合っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基準省令に基づき、行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、スタッフ間で話し合いをしながら、定期的に見直しの機会を設けていきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインについては、中身については一定把握しておりますが、職員間での共有という部分を大事にしています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・パートさんにも参加してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、担当者会議に参加する機会を増やすとともに、連携を強化していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親御さんが直接、送迎するため担任の先生と直接、お話しする機会は少ないですが、電話や書面などで情報を共有しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童連絡会に学校の先生も参加されていることもあり、引き続き、情報の共有を行うとともに、行事などにも積極的に参加していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。		該当なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・就学児は、同センターと、就学前の子どもは、保育園等と引継ぎ書でもって行っております。 	

	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。		○		・引き続き、青年期、成人期を考えて、次の場への引継ぎや情報共有等は、検討していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○			・同じ建物内のため、以前担任していた職員を中心に連携を取っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		○		・障がいのないお子さんとの活動の機会はほとんどありませんが、地域の公園などに行って過ごすことはあります。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している。	○		・熱田区、瑞穂区の連絡会、協議会には参加できるよう体制を整えております。	・参加するだけではなく、実践を出すことも今後の課題になっております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	○			・今年度は、スタッフがペアレント・トレーニングの研修会に参加しました。資料等をスタッフ間で共有していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○			・不明な点についての質問などには、個別でまた対応しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		・日頃から、連絡ノートや電話、直接送迎時に話をすることを大事にしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○		・同センターとともに行事を運営しております。OBの方へも連絡をして参加を呼び掛けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		・年間計画、メーリングリストでの連絡網整備等は、行っております。	・作品を掲示したり、写真を見てもらったりする機会を今後も設けていきます。
	35	個人情報に十分注意している。	○		・書類等、保管庫での管理を徹底しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○			

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○			・今後も同センターとともに行事を考えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	○		・感染症が出た場合は、メーリングリストで流すこととしております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		・毎月、月末に避難訓練を行うようにしております。	・引き続き、職員の防災意識・知識の向上、子どもの姿から考える防災対策を大事にしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	○			・今後も、事業所内での議論・検討は進めていき、保護者に引き続きも確認していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○			

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表(2019年度)

公表：令和2年 3月

事業所名：デイサービスあつた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		・利用定員や活動内容によって配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である。	○		・給食の配膳などは、職員以外にも手伝ってもらっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。		○		・今後も、老朽化やバリアフリーについては、同センターだけでなく、名古屋市にも課題を伝え、一緒に考え合っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	○			・よりパートさんも含め一緒に話し合いができる環境を整えていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		・単独時に評価表を配布し、その場で記入できるようにしております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○			・昨年度より、当法人、すてっぷサポートの HP で公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		・センターとともに検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		・同センターとともにパートさんも研修に参加できるよう体制を整えています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成している。	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		・毎日のケースで子どもたちの姿を職員同士出し合い、保育内容を検討しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○		・季節よってのプログラムやこの時期にお子さんに経験してもらいたい内容を活動に取り入れています。	・引き続き、子どもの姿から活動を考えることや、同センター内の職員からの意見ももらいながら活動を考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	○			・休日に行事を開くことで、お母さんだけでなく、お父さんや祖父母の方にも参観できるようにしています。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせてサービス計画を作成している。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			・引き続き、記録を取るとともに、気になったことなどをその場で伝え合っていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	○		・基準省令に基づき、行っております。	・引き続き、スタッフ間で話し合いをしながら、定期的に見直しの機会を設けていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている。		○		・ガイドラインについては、中身については一定把握しておりますが、職員間での共有という部分を大事にしていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		・パートさんにも参加してもらっています。	・引き続き、担当者会議に参加する機会を増やすとともに、連携を強化していきます。
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	該当なし			
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○			
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○			
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	○			・今年度は、スタッフがペアレント・トレーニングの研修会に参加しました。資料等をスタッフ間で共有していきます。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○			・運営規定については、年度初めに説明をするとともに、保育内容についても適宜、説明会を開いたり、単独時にお伝えしています。

説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		・日頃から、連絡ノートや電話、送迎時に話をすることを大事にしています。	・年2回の懇談以外にも、保護者からの要望で懇談を実施しています。(進路相談など)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○		・同センターとともに行事を運営しております。OBの方へも連絡をして参加を呼び掛けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○			
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		・年間計画、メーリングリストでの連絡網整備等は、行っております。	・作品を掲示したり、写真を見てもらったりする機会を今後も設けていきます。
	35	個人情報に十分注意している。	○		・書類等、保管庫での管理を徹底しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○			・今後も同センターとともに行事を考えていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	○		・感染症が出た場合は、メーリングリストで流すことしております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○			・引き続き、職員の防災意識・知識の向上、子どもの姿から考える防災対策を大事にしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○			・年度初めに保護者の方に医師の指示書をいただき、必要に応じて、個別での確認もしております。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○			